

船舶事故調査報告書

令和6年12月18日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|--|
| 事故種類 | のり養殖施設損傷 |
| 発生日時 | 令和5年11月5日 21時30分ごろ |
| 発生場所 | 愛知県常滑市大野漁港西北西方沖 大野港北防波堤灯台から真方位289° 1.0海里付近 (概位 北緯34° 56.3′ 東経136° 48.1′) |
| 事故の概要 | プレジャーボートRAMは、漂流中、のり養殖施設に進入し、同施設が損傷した。 |
| 事故調査の経過 | 令和5年11月16日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | プレジャーボート RAM、12トン |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 280-29755愛知、有限会社妻木興業 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、二級小型・特殊 |
| 負傷者 | なし |
| 損傷 | 本船 なし のり養殖施設 外枠のロープに切損 |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 南東、風速 約2m/s、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 ほぼ満潮時、潮流 南流約0.2ノット |
| 事故の経過 | 本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者2人を乗せ、大野漁港西北西方沖において、船長及び同乗者2人が釣りをしながら漂流中、風浪等に圧流され、のり養殖施設（以下「本件施設」という。）に進入して外枠のロープを切断した。 本船は、外枠のロープが推進器に絡んで航行不能となり、来援した海上保安庁の巡視艇にえい航された。 |
| 分析 | 本船は、漂流中、風浪等に圧流され、本件施設に進入して外枠のロープを切断した可能性があると考えられるが、船長から情報が得られなかったことから、本件施設に進入した状況を明らかにすることはできなかった。 |
| 原因 | 本事故は、夜間、本船が漂流中、風浪等に圧流され、本件施設に進入して外枠のロープを切断した可能性があると考えられるが、船長から情報が得られなかったことから、本件施設に進入した状況を明らかにすることはできなかった。 |